

# 音楽演奏と聴衆

真声会会長 大村 益雄(1期・作曲)

ロシア生まれのスタニスラフ・ブーニンが、「第11回・ショパン国際ピアノコンクール(1985年)」で優勝しました。当時、私もテレビで、その演奏を聴きました。NHKテレビで取り上げられたため、ブーニン・ブームとなり、日本では、ブーニンの演奏会が大々的に行われるようになりました。そして「遂に」とも言うべき、クラシック音楽では使うことが珍しい「日本武道館」で、ブーニンのコンサートが開かれました。マイクとスピーカーを使用し、聴衆、観衆を1万5千人も収容可能なので驚くべきことです。私はこの演奏会開催のニュースを京都で知り、クラシック音楽の聴衆動員に大変興味を持ったのですが、東京までわざわざ聴きには行きませんでした。しかし、「日本武道館」を使った2度目のブーニン演奏会は開催されなかったので心残りです。このイベントに多くの聴衆が集まったことは確かで、多分、事前の話題が、大きな聴衆動員を可能にした一つの事例だと思います。

ブーニンがショパン・コンクールで優勝してから、日本で大変有名になり、後に、私は身近に、ブーニンの生演奏を聴く機会を得ました。それは、ドイツのフランクフルトで毎年催されている、世界の楽器ショー「フランクフルト・メッセ」で、ブーニンが、ヨーロッパのピアノ・メーカー(イタリアのファツィオーリ FAZIOLI)のデモンストレーション演奏をしていたときのことです。日本で、これほどまでに有名になっているブーニンが、楽器見本市の展示のショウで、20人-30人を相手に、その楽器の展示ブースで、気軽に、1時間、2時間おきに得意な曲を演奏していたので、楽しく、度々、眼の前で、その演奏を聴くことができました。とても素晴らしい演奏でした。そして、その時思ったことは、スタニスラフ・ブーニンの社会的評価は、日本と、ヨーロッパで異なるのではないかと感じたことです。日本では、マスコミなどの評判が優先されて聴衆が集まり、そして演奏者の評価が形作られていく。ヨーロッパでは、実質的な音楽表現を音楽の聴き手に受け渡すことに価値が有り、聴衆も、楽器と演奏者をひとつの音楽表現として自然に捉えて、その価値を受け取っていると思いました。逆に言うと、日本では、事前に作り出された話題により、聴衆が動いていることが多く、事前の話題が少なくなってくると、演奏会が萎(しぼ)んでくる。聴衆自らが「その演奏者や演奏自体に対する話題を作り上げていく」と言う習慣がない。つまり、演奏家を支えていく聴衆が、未だ十分に育っていない、と言うのが日本の実情ではないかと思えたのです。

ブーニンの演奏について、ヨーロッパでは、それほど話題になることは少なく、演奏内容に、とても魅力あるピアニストとして捉えられていないのではないかと思います。ブーニンは、ショパン・コンクール優勝の際、まだ、19歳で、素晴らしい演奏に加えて新鮮さがあり、日本では大きく話題として取り上げられ、度々、演奏会が開か

会長巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	京芸だより	8
真声会賞報告・受賞者レポート	3	各支部活動報告	9
役員の選挙について・ご報告	5	コンクール等受賞者	11
役員退任のご挨拶	5	後援演奏会情報	13
卒業式·入学式参列報告·····	7	真声会活動報告	16

れるようになりました。しかし、日本の聴衆は、話題が持続しないと聴きに行きませんから、その後、聴衆も少なくなり、最近では、日本でも、ブーニンを聴く機会は少なくなったと思います。でも最近では、ソチ冬季五輪で知られるようになった浅田真央のスケーティング・ミュージックとしてブーニン演奏のピアノ音楽が使われています。

日本だけではなく、世界も同じですが、現代は、非常に大きな社会変革の波に飲み込まれています。政治情勢だけではなく、日常社会において、AI(Artificial Intelligence 人工知能)によって生活基盤が変わり、また IT(Information Technology 情報工学)によって、ニュースや催事伝達の画質(4 K、8 K による高画質)や音質が格段に良くなり、ハイ・クオリティーの音楽を茶の間で享受することができるようになってきました。また、ユーチューブ(YouTube)などで、数多くの演奏を簡単に聴くことができるし、音質面では、ナクソス・ミュージック・ライブラリー(Naxos Music Library)の中から曲を選べば、多くの演奏家の多くの音楽表現を高音質で、簡単に楽しむこともできます。そのため、演奏会場での生演奏の価値としては、会場の雰囲気(演奏者と聴衆のふれあい、聴衆同士のふれあい)が必要になってきているのです。いまのクラシック音楽の演奏会では、演奏会マナーのようなものに縛られて、むしろ、生演奏の価値が薄められてしまっているのではないかと思うことがあります。楽章の間では拍手をするな、曲が終わっても余韻が収まるまでは拍手をするな、など、聴衆マナーが普及し、音楽の直接的感動とは結びついていない聴衆の振る舞いが、昔より増えてきたような気もします。

歌舞伎の舞台などでは、演者と観衆との間に、もっと生きた雰囲気が感じられますし、演技の途中でもざわめきが起こります。同じ演目を20日間ぐらい、昼夜2回、ぶっ通しで行って、ほぼ満席の観劇者が集まるのは、「生の舞台にそれだけ魅力があるからだ」と言えます。ポピュラー音楽の楽しみ方も、一人で楽しむ方法と、少人数で楽しむ方法と、大勢で楽しむ方法に分化し、大勢で楽しむ方法は、「演奏会全体の雰囲気を楽しむ」と言うところに価値が有るように思えます。出演者と、その舞台を支える人と、お金を払ってそれに参加する観劇者は、全体のバランスが取れていることにより、それぞれの価値が現れ、それがビジネスとしても成り立っているのだと思います。

クラシック音楽の演奏会は、時代の変遷に対する対応が遅れて、旧態依然とした演奏会スタイルが多く、同 じ演目で何日も連続で行われることは少なく、お金を払って聴きに行く聴衆の数も限られて、演奏会ビジネス として、だんだん成り立ちにくくなっている、むしろ、殆どが成り立っていないのが、現状ではないかと思わ れます。そのため舞台を支えるスタッフも育たないし、音楽プロダクションも、よほどの話題性がないと手を 出しにくくなってきているのではないかと思います。

聴衆が少ないと、演奏家の数も減ってくるわけですから、よほど特異な価値を持つ演奏家以外は、やがて姿を消していくことになるでしょう。音楽を勉強したけれども、仕事がないと言う状況が、これから、ますます増えてくるのではと思われます。日本では、聴衆を育てると言う活動が抜けたまま、音楽享受の在り方に大きな社会変化が起こっています。このような社会状況を感じ取り、クラシック音楽の楽壇を構成している我々を含むすべての人々が協力して、可能な限り将来を見据えて、これらの変化に立ち向かっていく必要があると言えるのではないかと思っています。



# 大村会長は、今期を持って退任されます。

会長は、芸大音楽学部(当時は、音楽短期大学)の第1期生として卒業されました。卒業後、真 声会会長を20歳代から何度か務められ、現在、第9代会長として2007年から今日まで、通算27 年余、務められました。

会長の、音楽にとどまらない、広い視野からの文章を、楽しみにされていた方も多いのではないか と思います。

これまでの、ご尽力に感謝致します。ありがとうございました。

# 第3回 真声会賞は竹林優生さん(管楽器)が受賞されました

真声会副会長 樋上由紀(19期・ピアノ)

平成30年度卒業式に於いて、卒業生の竹林優生さんに、登副会長より真声会賞並びに副賞を授与致しました。真声会賞は卒業生の中から、実技のみならず一般教養全ての成績の優秀な方を真声会学内委員の先生方に選考して頂き、今回はピアノ専攻、作曲専攻、管楽器専攻の三名が推薦されました。そののちそれぞれから任意のレポートを提出して頂き、真声会理事会において慎重に選考を行いました。

3名のレポートは構成としての弱さがあるものの、表現者あるいは創造者としての立場から音楽と真摯に向き合い、社会に発信していく事の難しさや大切さを自分の体験から力強く表現されたり、音楽の持つ力や音楽以外の世界からの視点を模索する等、興味深い表現がありました。理事会では意見が分かれましたが最終的に竹林優生さんを選出致しました。竹林さんのレポートは本会報にて掲載致していますので、是非ご一読くださいませ。

ご報告ですが、第一回受賞者の三上翼さんは現在ザルツブルグ・モーツァルテウム大学にて、第 二回受賞者山原さくらさんは現在東京藝術大学大学院にてそれぞれ研鑽をつまれています。

今回もまた真声会賞の選考にあたりまして、ご協力頂きました京芸事務局教務課、並びにご推薦いただきました学内委員の諸先生方に心より厚く御礼を申し上げます。

受賞された竹林さんを始め卒業生の皆さまはこれからそれぞれの道を歩まれる事と思いますが、 どんなときにも勇気と希望を友としてご活躍されて行かれます事をお祈り申し上げます。

# 真声会賞受賞者よりメッセージ

この度は名誉ある賞を頂けましたこと、心より感謝申し上げます。 先生方や仲間と共に音楽に身を投じ、楽しんだり、時には悩んだり しながら学んだこの4年間は、私の今までの人生で最も輝かしく、 希望に満ち溢れた時間でした。これからも日々学び続け、たくさん の方々の心に音楽と感動を届けられるように、そして、支えてくだ さった方々への恩返しができるように、日々邁進いたします。



# 真声会賞受賞者レポート

# 音楽の力

竹林 優生 (64 期・テューバ)

音楽は人間特有の文化である。動物は「音」でコミュニケーションを取ることができるが、人間は「音」を用いて「音楽」を創り出すことができる。音楽は「音による言葉」であり、言語や人種の壁を超えて、すべての人々に等しく語りかける。

私たちの周りには音楽が溢れている。電車に乗ると、音楽を聴きながら通勤や通学をする人たちをよく見かけるし、レストランに入ると大抵、その場所の雰囲気に合わせたバックグラウンドミュージックがかかっていたりする。家に帰ってテレビをつけても、番組やコマーシャルでは音楽を用いて演出に華を添えている。メディアの発達により、以前よりも格段に音楽が生活に溶け込むようになった。求めればすぐに聴きたい曲が聴けるようになり、求めていなくてもどこかしらから音楽が聞こえてくる…今の世の中は本当に便利になったものだ。

また、聴くだけではなく、演奏して楽しむことも容易になってきた。学校では音楽の授業や部活動で、歌ったり楽器を演奏したりする機会がある。また、地域によっては楽団があって、そこでみんなで集まって演奏を楽しむこともできる。今日も至る所でたくさんの演奏会が開かれていて、それぞれが思い思いの音楽を奏でて楽しんでいる。

音楽は人が生命を維持するのに必要不可欠なものではない。しかし、古来から音楽家という職業は存在し、今も 消滅することがなく活動を続けている。音楽に対する需要は、いつの時代もあるということなのである。音楽は人 に何をもたらしているのか。

音楽は友人のように、私たちといつも一緒にいる。嬉しい時は一緒に喜んでくれたり、悲しい時は励ましてくれたり、共に悲しみ、慰めたりしてくれる。彼らはいつも「共感」してくれるのだ。どんな時であろうと、音楽は私たちを見放さず、進むべき方向に導いてくれる。生きることは必ずしも楽しいことばかりではなく、むしろ悲しいことや苦しいことの方が多い。時には自分で悩みを抱え込んでしまう時だってある。そんな時でも、音楽は私たちの心の拠り所になってくれる。

音楽は、人と人とを繋ぐ架け橋になる。コンサートがあると、そこには様々な方面から人が集まる。別々の考え方や感性、バックグラウンドを持った人達がその場所に集まり、同じ空間で音楽を共有し、それについて語らうことができる。そこからまた新たな人同士の繋がりが生まれ、今後の人生の糧になっていく。音楽を窓口に、人々は新たな人間関係を創り上げていくことができるのだ。

音楽は人に、「目に見えないものを感じ取る力」を与えていると、私は思う。音は空気の振動であるからもちろん目に見えることはない。だから、聴き手はその現象に五感を研ぎ澄まして向き合い、音楽を全身で感じる。そして、その音楽が内包するメッセージや感情、風景などを感じ取り、想いを馳せるのだ。肉体はその場に留まりながら、魂だけが音楽の世界に吸い込まれていく…非日常的な体験を、音楽は与えてくれる。現代社会では様々な情報は数値化され、データとなって可視化されている。見えるものだけを頼りに生きてしまいがちな私たちに、音楽は見えないものの存在を示してくれているのだ。

このように、音楽は目には見えないが、確実に心を豊かにしてくれている。気持ちに作用し、私たちがより良い 生き方をできるように手助けしてくれている。

そして、心の豊かさは周りの人に伝染していき、気づけば皆の心が豊かになっている。音楽があるところには貧 しい心は存在しないと私は思う。

音楽の力はとても強いものである。私たちは音楽を聴いたらすぐにその感情を理解し、共感してしまう。どうして音楽は私たちの心にこんなにも優しく染み入ってくるのだろうか?

それは、音楽は愛で作られているからだと私は思う。

音楽が成り立つためには、作曲者、演奏者、そして聴衆が必要だ。作曲者は曲を作る際に、「聴いている人にこんなことを伝えたい!」と思いながら曲を書くだろう。そして演奏者に対しては、なるべく演奏しやすいように配慮をして、気持ちよく演奏してもらえるように曲を仕上げる。演奏者は、作曲者が思い描いた音楽を忠実に再現するために、楽譜を一生懸命読み、聴衆に向けて最高のパフォーマンスをしようと努力する。そして聴衆は作曲者、演奏者に対して暖かい拍手を送る。この三者の間のどこを取っても愛が存在する。お互いにお互いを想う気持ちが、音楽に愛をもたらしてくれる。

私は愛こそが、音楽の持つ最大の力だと確信している。

人は一人では生きていくことができない。お互いに持ちつ持たれつ、支え合って生きている。しかしながら残念なことに、今もこの世界では至る所で戦争があり、人はお互いに憎み合って、傷つけ合っている。それだけではな

く、貧困や飢餓、伝染病などで、多くの命が失われている。そんな中、 傷つき、疲れ果てた人々の心を癒すのは、音楽による愛の伝道なので はないか。音楽は言語の壁を超えて人々の心に響き渡る。人は音楽を 通して分かり合うことができると、私は信じている。

これまでの22年間、私はたくさんの人に支えられながら生活し、音楽を学んできた。そして、たくさんの愛を受けて、私は大学を卒業し、音楽家として活動していく。今はまだ未熟だが、いつかは誰かを支え、愛を与えられる器を持った音楽家になれるよう、これからの人生を歩んでいきたい。



# 役員の選挙について・ご報告

選挙管理委員会委員長 桒原 孝夫(20期・声楽)

4年に一度の真声会本部役員の選挙が行われました。突然の選挙管理委員長の依頼を受け、お引き受けする事となりました。

選挙管理委員については、前回の改選の時に委員長をされた、同期の井出悟さん (20 期ピアノ)、若い世代から、 永野歌織さん (55 期声楽) と、出口青空さん (63 期ピアノ) にお願いする事になりました。

さて、11月に選挙案内、被選挙人名簿、投票ハガキを会報に同封させていただき、投票をお願い致しました。 11月末(30日)を締め切りとし、総数126名の方からの投票があり、その内、無効(白票、無効票、過期限)が、 11枚ありました。前回は、218名の投票があり、今回投票数が少なかったのは、気になる所です。尚、投票ハガキ回収の折には、理事の佐藤敏子さんに立ち会っていただき、大変お世話になりました。

12月17日に、4名の選挙管理委員と、本部から中村公俊さんに立ち会っていただき、大学内にて、厳正なる開票作業を行い、結果をただちに理事会に報告させていただきました。票の内訳として、名前の挙がった方は230名で、1票160名(31期以降80名)、2票33名、3票12名、4票12名、5票2名と続き、7票以上の方が11名で最高得票は、19票の方が2名でした。尚、1期~30期が137名、31期以降が93名のお名前が挙がり、投票があった一番若い方は65期でした。

結果をうけ、総会にて、役割分担を含めて具体的に提案され、審議のうえ、新しいスタートが切られます。 今回の改選に係わり御協力頂いた皆さんに感謝致します。ありがとうございました。

# 役員退任のご挨拶

# 会長 大村 益雄(1期・作曲)

早いもので、今年、86歳になります。私が50歳ぐらいの時に、80歳近くの政治家を見て、年寄りは早く若い人に任せて 引退すべきだと、常々、思ってきました。その考えは、今も変わりません。

私は、音楽学部(当時の京都市立音楽短期大学)の第1期の卒業ですから、これまでの間に、何回も真声会の会長をお引き受けさせて頂きました。その間、京都大学へ入学したり、電子楽器普及のため海外ビジネスを担当したり、京芸や他の音楽関係の大学で、非常勤で教鞭を執ったり、また、世界僻地の土着民族の文化を数多く訪ねるなど、色々なことがありました。

でも今回の真声会会長職が、一番長く、12年間続けたことになり、最後の4年間は、いかに次の世代へスムーズに役職を引き継ぐかを考えて運営させていただきました。そして、この度、すっきりとした気分で組織を引き継ぐことができました。今まで私が、様々な分野で多くの皆様のお世話になったことを、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。本当に有難う御座いました。

# 副会長 樋上由紀(19期・ピアノ)

この4年間を振り返りますと、ナクソスミュージックライブラリーを卒業生にも無料配信開始、60周年記念事業として美術学部同窓会のアートフェア―に同窓会同士の合同企画でリレーコンサートとして参加、60周年記念冊子の編纂、真声会賞の設立等、活発な活動が出来た時期だったと思います。これは皆様方のご要望や御意見を形にすべくスピードを持って活動出来るシステムを前任の理事の方々が作り上げて下さった賜物と感謝しています。この様に歴史ある同窓会で理事の皆さまの幅広いご意見を伺いながら、勤めさせて頂けました事は貴重な経験となりました。さらに同窓会の発展を願いつつ、任期終了のご挨拶とさせて頂きます。

# 副会長 登博美(20期・トロンボーン)

大学卒業後、真声会の総会や事業に一度も参加したことがなかった私は、定年後、これまでの不義理を果たすべく恩返しのつもりで役員をお受けしました。

全く不慣れな私ではありましたが、大村会長のもと他の役員の方々にも支えられ、副会長として何とか職責を果たすことができました。4年後の大学移転に向けて、真声会もこれまで以上にその役割を期待されると思います。京都芸大と真声会の今後益々の発展をお祈りしております。

# 専務理事 朴実(12期・作曲)

この4年間は、真声会60余年の歴史の中で、大変革がなされた期間だと思います。その中で特筆されるのは、2016年度創設された真声会賞があります。この賞によって、現役の学生と卒業生の距離が、より身近になったように感じられます。また、学生は入学と同時に真声会に入会し、終身会費を支払うシステムも大変革であり、長年続けてきた年会費を撤廃し、全員終身会費納入制度に変わったことも、大変革でした。そのほか、60周年記念誌「想い出」を発行し、これに全期にわたる1期から64期生まで文章を寄せていただいたことは、とても感慨深いものとなりました。4年後、私が住んでいる地域の隣に、母校京都芸大が移転します。期待に胸を膨らませている今日この頃です。

# 事務局長 佐藤 敏子(17期・声楽)

事務局長をさせていただいておりました佐藤敏子です。今年度で会費納入を 全会員終身会費へと移行し事務処理も明確になりました。これも会員皆様のご協力により 実現致しました事 心より感謝しております。 大学の移転もあり、これから大学と真声会の発展のために、会員皆様のご協力をお願い致します。

# 理事 山本 千壽(17 期・ピアノ)

理事の任務は何かと考えつつ、会議に出席して、出された議案を話し合い、四年間が過ぎてしまいました。 真声会賞が出来、大学移転が本格化、現実化して、益々変化は続いて行きそうです。この四年間に少しづつ新しくなってきた事を、私の年のような者には有難い紙媒体の会報が、会費の無駄遣いと言われないように、多くの真声会会員の皆様に、会報の中から読み取って頂き、実感していただければ幸いです。 真声会の存在意義が、高まっていく事を期待しつつ、退任の挨拶とさせていただきます。

# 理事 山本毅(24期・打楽器)

大学内から一人はということで仰せつかった理事の職務、わけもわからぬままに真声会と大学のつなぎ役として少しでもお役に立てればと思って務めてまいりました。理事会のたびに皆さまの大学に対する暖かくも厳しい、厳しくも暖かい思いをひしひしと感じ、本当にありがたく感激する4年間でした。今後も皆さまのご指導ご協力をどうかよろしくお願いいたします。

# 理事 中村公俊(51期・ヴァイオリン)

約3800人の会員が日本各地にだけでなく世界各地にもおられる中、少しでも多くの方に関心を持っていただき、また、公平な事業であるかを考え行動するのは、非常に難しい課題でした。まだまだ、真声会がどのような活動をしているのか、どのようなビジョンを持って行動しようとしているのか、伝えきれていない現状があります。少しずつ改善、改革がなされてきましたが、京芸の発展のみならず、広く社会に役立つ組織へと成長するべく、若い世代が会運営に積極的に関わるよう期待しております。

# 理事 笹まり恵 (54 期・ピアノ)

何もわからないままに理事をお引き受けする事になり、この4年間で真声会の活動を勉強させて頂きました。その間にはナクソス導入や真声会賞の設立など、新しい動きがたくさんあり、その過程に携われた事は大変光栄な事でした。これから大学移転に向けて、真声会が大学に益々貢献できますように期待しております。ありがとうございました。

# 理事 小松 淳史(56期・作曲)

「真声会」というものが何なのかもよくわからなかった4年前、理事のお話が突然来たときには大変驚きました。その後、同窓会を通じていろいろな先輩方とお話する機会を得ることができました。真声会が、音楽を志した者たちにとっての大切なコミュニティとして、今後も発展しますように…

# 監査役 小川隆宏(5期・ピアノ)

同窓会のお手伝い、値しない存在でご迷惑をお掛けしたのでは無いだろうかと反省しております。その間、同窓生の素晴らしい活動の一端が垣間見え感謝の極みであります。クラシック音楽というある特殊な存在、文化的には優れていても経済的にはなかなか難しい現状、平成も後数日で、慌ただしく令和へと移り変わって行きます。幹事スタッフの献身の努力に依り素晴らしく同窓会が維持されます事を祈念し、会員のそれぞれの御発展を祝福してご挨拶とさせて頂きます。有難うございました。

## 監査役 杉中博(19期・トランペット)

会費納入方法の変更や名簿作成の停止等を経て、執行会計も随分整理されました。事務局はもちろん、役員の皆様のおかげです。極めて健全な会計処理がなされていることをあらためてここにご報告し、退任のあいさつとさせていただきます。

# 平成30年度 卒業式に参列して

真声会副会長 登博美(20期・トロンボーン)

去る3月25日に平成最後となる平成30年度美術学部・音楽学部卒業式並びに大学院学位記授与式が執り行われ、 真声会を代表して参列いたしました。

音楽学部60名並びに音楽研究科修士課程20名、音楽研究科博士課程2名の学生の中では、女性はほとんどが着物や袴姿でありました。美術の学生の中には恒例となった映画やアニメのキャラクターなど、趣向を凝らした自作の仮装も見受けられましたが、気のせいかその数はこれまでに比べてかなり減少したように思えました。卒業証書授与式では、美術学部の代表者の奇抜すぎる衣装姿が笑いを誘うなど会場は京芸らしい和やかで温かい式となりました。

卒業証書・学位記授与に続いて、市長賞並びに同窓会賞が授章されました。今回で第3回目となる音楽学部同窓会「真声会賞」はテューバ専攻の竹林優生さんが受賞され、壇上で大村会長の代理として私から表彰状と副賞10万円を贈呈いたしました。

京芸学長として最後の卒業式となられた鷲田学長は式辞で「皆さんがこれからどういう場所で、どのような職業

によって芸術に関わり続けるにしても、芸術を通じて同じ 時代を生きる人々の歓びや悲しみ、苦しみに深く寄り添い、 どんな苦境の中にあっても希望の光を絶やさぬよう、力を 尽くしてくれるよう願っています。そして、過去3回の 卒業式は私にとって宝物のような思い出です。ありがと う。」と祝福と感謝の言葉を贈られました。

卒業生それぞれの道は違っても、京芸で練習に練習を重ね、芸術にとことん取り組んだ経験を大きな財産として、精一杯力を尽くされることを心から願っています。



# 平成 31 年度 入学式に参列して

真声会副会長 樋上 由紀(19期・ピアノ)

春にしては冷たい雨のお陰で、桜の花はまだまだ美しさを持ち堪え、華やぎを添えてくれた入学式の日となりました。講堂の中は外の寒さとは打って変わり、希望と未来の夢に満ちた新入生達の熱気に包まれていました。

今年度は美術学部生135名、大学院修士課程62名、博士後期課程6名、音楽学部生65名、大学院修士課程24名、博士後期課程2名の総勢294名が入学されました。

昨年同様、開式に当り、音楽学部在学生の歓迎のファンファーレ(ポール・デュカ作曲バレエ音楽≪ラ・ペリ≫より)の演奏があり、一気に芸術大学らしい雰囲気に包まれました。

学生代表の宣誓の後、赤松玉女新学長の式辞がありました。ホームページに書かれている、2023 年に予定されている移転計画のコンセプト「テラス」についての考えをお話しされました。「テラス」は京芸のあるべき形を表わしていて、閉じたり開いたり出来る場所。外には解放された空間で、多くの人と、異なる文化や考え方との交流、又様々な情報を得、刺激を受けつつ創造的な発信をする「場」でもある。内には専門的な学びや探求があり、学生や教員との相互創造があり、それらを繋ぐのがテラスでありその中心に「芸術」がある。この二つが隔絶するので

###入学式·大学院 #### 入学式

はなく風が吹くように交流できる「場」。とのお話にこれからの芸大 の益々の発展を垣間見る思いがしました。

又京都市長からの祝辞では、150年前、京都は大政奉還後、都が東京に移り人口は減り荒れ野原となった時、京都の民衆の中から未来の為に人を分け隔てなく育てる為、日本でいち早く小学校が創設された事。又第二次世界大戦後、平和の為には文化・芸術が大切と御所に絵画専門学校が出来た事を話され、京都人の先見の明とそれを創り上げる気概を伝えられました。入学された皆さんが、この歴史的な伝統の土壌の中で、自由に且つ大胆に学んで行かれる事を切に願いました。

# 《京芸だより》

# ●人事異動のお知らせ

ご退任 (2019年3月末)

鷲田 清一 学長 淀野 実 副理事長 音楽学専攻 柿沼 敏江 教授

ご着任(2018年4月1日)

赤松 玉女 学長 上田 誠 副理事長 音楽学専攻 中井 悠 講師

# ●赤松新学長よりメッセージ

真声会の皆様、初めまして。今年度より学長を務めます赤松玉 女 (たまめ)です。就任してまだ半月ほどで右往左往していると ころです。新米学長ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。 私は、本学の美術学部と美術研究科修士課程で絵画を学び、その後画家として活動を開始し、1993年から25年間教員として 本学に関わってまいりました。1980年の沓掛移転の時に私は学部の3回生でしたので、音楽と美術の学生がここ沓掛校舎で一緒に学んだ最初の世代です。今の学生たちを見ていますと、当時よりも自然に両学部の学生たちが交流しているように見えます。昨



年度末に参加させていただいた,「のれん百人衆(学生支援の寄付制度)」の活動報告会では,音楽,美術のジャンルを超えて,学生たちが様々な創作活動や演奏,プレゼンテーションをしていて,それぞれ面白く拝見することができました。近年は,例えば音楽と美術の教員の共同プロジェクト,伝統音楽研究センターと学生との繋がり,学科教員による音楽・美術の共通授業の模索など,学内の各部署の協力や連携も広がっています。従来の高度で専門的な研究と教育を推し進めつつ,垣根をこえた横断性が次世代の芸術活動を育み,大学をさらに充実させてくれるように取り組んでまいりたいと思います。

私自身は音楽には全くの素人ですが、平成元年から3年半ほど、イタリアのボローニャに住んでいました。彼の地では身近にクラシック音楽に触れる事ができました。現地で友人になったコンセルバトリオの学生たちと一緒に、市立劇場の天井桟敷でオペラの一幕を見る機会を何度か得たのです。ヴェローナの野外劇場で行われた、アイーダのゲネプロにも、これは舞台美術を志していた友人がアルバイトをしていたので、潜り込ませてもらいました。そんなささやかなものですが、記憶に残る体験でした。美術のほとんどはコツコツと孤独な作業の末に作品だけで成立しているのに対し、音楽では複数の人びとの共同作業の先に、演奏にせよ歌唱にせよ、アーティスト本人の姿が前面に出ます。練習に練習を積んで一回の本番に、最高のパフォーマンスを目指すというのは、我々の仕事よりもアスリートに近いなあと思っておりました。そんな違いはあれ、音楽も美術も人の心に触れ、動かす力がある事にかわりはありません。音楽学部の活動に、演奏会に、これまで以上に伺えることを楽しみにしています。

さて本学は現在,2023年度に予定されるキャンパス移転を目指して、様々な課題に取り組んでおります。移転を大学のさらなる飛躍の機会とするために、真声会の皆様にもご協力をお願いする場面もあるかと思います。その際には何卒よろしくお願い申し上げます。

# ●演奏会のお知らせ(2019年11月までの抜粋)

**▶第33回ピアノフェスティバル** 日程:6月7日(金) 開場 18:30 / 開演 19:00 京都府立府民ホール"アルティ" **▶ウエスティ音暦1 (管・打楽)** 日程:6月8日(土) 開場 13:30 / 開演 14:00 京都市西文化会館ウエスティ **▶第161回定期演奏会** 日程:7月11日(木) 開場 18:00 / 開演 19:00 京都コンサートホール 大ホール **▶文化会館コンサートI (管・打楽)** 日程:11月20日(水) 開場 18:30 / 開演 19:00 京都市北文化会館 **▶ウエスティ音暦2 (弦楽)** 日程:11月30日(土) 開場 13:30 / 開演 14:00 京都市西文化会館ウエスティ

真声会会員の皆様は**会員証の提示**により**定期演奏会に無料**でご入場いただけます。

大阪支部 http://senri-music.com/shinseikai-osaka/「真声会大阪支部」でアクセス可。

大阪支部では、4月19日に支部報113号発行、また6月2日(日)にはホテルグランヴィア大阪フレンチレストラン「フルーヴ」にて支部総会、懇親会を予定しております。

2年前に再始動して門真市ルミエールホール、神戸市塩屋グッゲンハイム邸、池田市マグノリアホールにて開催されてきたプロムナードコンサートですが、今後円滑に活動してゆくために、地域間で共有できる運営基本ライン規約が必要と感じ、現在話し合い、作成を進めております。

今後の活動状況については支部ホームページに随時掲載いたしますのでどうぞご覧くださいませ。 今年度も会員の交流を深めながら、さらに活動を充実させていきたいと思います。

副支部長 大冨 栄里子(28期・ピアノ)

# 関東支部

真声会会員の皆さま!こんにちは。今年、関東支部では嬉しいことがありました! 58 期の方がご入会されました。

支部を作ってくださった 5 期島津先生達の世代。それを引き継いだ私達の世代。そして、次に引き継ぐ若い世代の方が入会してくださった事で、関東支部は今しばらくは活動を継続する事が出来そうです。

そんな関東支部ですが、この一年の活動としましては、5月11日に総会と懇親会を開催。また11月24日に杉並公会堂小ホールにて第23回定期演奏会を開催。その他、2018年6月2日ピアノアンサンブル doux vol.12、9月8日 Musique Variée、2019年3月31日白水裕憲(33期fl)リサイタルを後援。また、関東支部会報「ハーモニー」の発行などでした。

個人レベルでの集まりも活発になりつつあり、今後も益々、活動を盛り上げていきたいと思っています。 今後とも、関東支部をよろしくお願いいたします。

支部長 宇野 徹哉 (28 期・声楽)

# 京都支部

昨年は京都支部が発足して創立 30 周年という記念すべき年になり、新役員体制でこれまでの活動を引き続きながら、支部活動への周知・ご協力、催しへの参加を広げていくべく毎回の役員会で意見を交わしています。

去る3月13日(水)には、今年もキャンパスプラザ京都におきまして、本山秀毅氏(28 期 声)に第 2回「バッハの魅力」 の講演を頂きました。

また今年度、第30回となります総会&懇親会は、5月19日(日)京都四条のWITHYOUにて開催し、幅広くご活躍中の指揮者阪哲朗氏(35期作曲)に「ドイツの歌劇場の毎日」と題して、旬なお話を聞く機会を予定しております。

7月中旬には支部報第35号を発行し、9月15日(日)には、今年も府民ホール・アルティに於きまして、 午後2時から第36回プロムナードコンサートを開催します。是非皆様のご来場をお待ち致しております。

連絡先/宮崎友香子 (38 期 P ) TEL & FAX 0774-93-3957 MAIL y.miyazaki.ykk@gmail.com

支部長 寒川 正晴(30期・ホルン)

# 滋賀支部

昨秋、第30回記念演奏会をしがぎんホールにて開催しました。「30回を記念して30人越えの出演者で」 との目標を達成することができました。

さて新たな年度を迎えますが、特に気負わず自然体で臨みたいと思います。4年前に国連サミットでSDGs (持続可能な開発目標)が採択され、全地球的な取り組みが始まっています。持続可能な経済・

- 社会づくりの考え方は文化活動や地域コミュニティにも通用すると考えます。私達の同窓会活動は特に、
- 縦横の繋がりを生かし、音楽芸術活動の担い手を支援していければと思います。
  - 過日、AIが指揮する報道を見て、演奏者はどう感じているのか疑問でした。音楽芸術が博物館内のものであったり、血の通わない文化にならないよう、地道に若い世代を応援したいと思います。
- 今年の支部総会は6月9日(日)18時 イージーオールにて開催します。
- 滋賀支部事務局 井出 悟 Tel.Fax 077-579-2171 大津市日吉台 3 3 2 1

支部長 杉中博(19期・トランペット)

# 中部支部

平成30年度2月10日(日)15時より、名古屋伏見「ドルチェ・アートホール Nagoya」にて支部主催第五回演奏会「音に集う会 Vol.5」〜煌めきのBrass〜を開催致しました。野々口義典さん(33期 Hr)、米田一幸さん(23期 Tp)、森岡佐和さん(52期 Tb)、大阪支部から金田仁美さん(52期 P)の4名が20世紀の作品を主に、ソロ、トリオなど多彩な編成による演奏をして下さいました。また野中亜紀さん(58期音楽学)の監修の下、ステージでのMCは青木美沙季さん(60期声)、と同窓会ならではの協力体勢を図ることもできました。支部会員の皆さまには、5月26日(日)14時30分より日本特殊陶業市民会館(旧名古屋市民会館)にて開催の「2019年度第10回中部支部総会」には是非参加して頂き、今後の演奏会、支部のあり方などを話し合って一層の親睦を深めて参りたいと願っております。

中部支部 URL https://shinseikai-c.jimdo.com 連絡先 e-mail:ototsudo.con@gmail.com (中島)

支部長 中島百合子(19期・作曲)

# 奈良支部

奈良支部では、12月4日に音出し会、3月7日に茶話会を行いました。今回は新しい参加者などはありませんでしたが充実したひと時を過ごしました。6月1日(土)昼、支部総会と懇親会を予定いたしております。関係者はぜひご参加ください。

で、来年2月14日(金)に第19回定期演奏会の開催を予定いたしております。今回は、ヴァレンタインデーにちなんで、愛をテーマに考えております。皆様、なにとぞご協力よろしくお願いいたします。何かありましたら、真声会奈良支部事務局 E-mail shinseikai\_nara\_shibu\_info@yahoo.co.jp までお気軽にお問い合わせください。どうぞ宜しくお願いいたします。

支部長 菊田 義典(42期・声楽)

# 真声会会員のコンクール等受賞者

コンクール等受賞者の掲載に関しては、正確を期するため、大学の教授会で報告されたものを転載して おります。真声会事務局への直接の受賞のご連絡は受け付けておりませんので、必ず、音楽学部教務課 にご報告くださいますよう、ご理解、ご協力をお願いいたします。



< 30 年度後期(30 年 10 月~31 年 3 月教授会報告分)>

#### ◆第1回日本奏楽コンクール

アンサンブル部門 二重奏の部 第3位(1位なし) **鈴木 愛子**(1999 年3月 ピアノ専攻卒業) **中里 美沙**(1999 年3月 管・打楽専攻(フルート)卒業)

# ◆第5回 さかい九頭竜音楽コンクール 声楽部門

金賞 及び さかい九頭竜音楽賞 玉置 彩音(声楽専攻4回生)

金賞 及び 審査員奨励賞

**田内愛**(2012年3月 声楽専攻修了) **西田みずほ**(声楽専攻4回生)

金賞

大江 留菜 (声楽専攻2回生)

# ◆第 20 回日本演奏家コンクール 一般 A の部

第3位

内山 歌寿美 (修士課程声楽専攻 1 回生)

# ◆第 10 回東京国際声楽コンクール

歌曲部門本選 第1位

廣田 雅亮(修士課程声楽専攻2回生)

新進声楽家部門 第3位

内山 歌寿美 (修士課程声楽専攻 1 回生)

## ◆第 19 回大阪国際音楽コンクール

Age-u オペラコース エスポワール賞内山 歌寿美 (修士課程声楽専攻 1 回生)ピアノ部門 Age-G 第 2 位近野 剛 (2015 年 3 月 ピアノ専攻 卒業)

# ◆第 17 回宝塚ベガ学生ピアノコンクール

大学生部門第2位

古谷 華梨 (ピアノ専攻4回生)

大学生部門第3位

目賀田 侑伽 (ピアノ専攻1回生)

# ◆第 20 回 日本演奏家コンクール 本選

ピアノ部門 一般 B の部 第 1 位 ならびに 毎日新聞社賞、神戸市長賞 受賞 (全部門より選抜で、みなとみらい大ホールにて東京フィルハーモニー交響楽団と共演権獲得)

塩田 (櫟原) 藍 (2010年3月 器楽専攻 (ピアノ) 修了)

◆第10回徳島音楽コンクール 金管部門 大学・一般の部 金賞

野田 彩伽寧(管・打楽専攻 1 回生(ホルン)) 銀賞

三木 柚穂 (管・打楽専攻1回生 (ホルン))

# ◆ VII BPA International Piano Award 2018 第7回バルセロナピアノアカデミー国際ピアノアワード (スペイン)

優勝 (第一位)

西岡沙樹(2014年3月 ピアノ専攻卒業)

### ◆第87回日本音楽コンクール 声楽部門

入選

中嶋 俊晴 (2010年3月 声楽専攻卒業)

# ◆第 28 回道銀芸術文化奨励賞 音楽部門受賞

**沓野 勢津子**(2007 年 3 月 管・打楽専攻卒業)

# ◆京都新聞大賞 教育社会賞

京都子どもの音楽教室

# ◆第 48 回フランス音楽コンクール 声楽部門

第1位・稲畑賞・月刊『音楽現代』賞 板橋 亜胡(修士課程声楽専攻1回生)

#### ◆兵庫県芸術奨励賞

**清水 徹太郎**(2004年3月 声楽専攻修了・音楽学部非 常勤講師)

# ◆第 20 回日本演奏家コンクール 木管楽器部門 大学生の部

第2位 神戸市長賞

千阪 爽緒(管・打楽専攻(クラリネット)2回生)

# ◆第72回 全日本学生音楽コンクール名古屋大会

チェロ部門大学の部 第1位

**白水 大地**((2018 年 3 月弦楽専攻(チェロ)卒業))

チェロ部門大学の部 第2位

森百々恵(弦楽専攻チェロ2回生)

#### ◆第72回 全日本学生音楽コンクール全国大会

チェロ部門大学の部 横浜市民賞

白水 大地 (2018年3月弦楽専攻 (チェロ) 卒業)

チェロ部門大学の部 入選

森百々恵(弦楽専攻チェロ2回生)

## ◆第9回クオリア音楽コンクール ピアノ部門

コンサーティスト大賞・クオリア大賞 **芝野速大**(ピアノ専攻3回生)

#### ◆第 38 回藤堂音楽賞

**日野 俊介** (1984 年 3 月 弦楽 (チェロ) 専攻卒業) **平野一郎** (2000 年 3 月 作曲専攻修了)

## ◆第 35 回愛知ピアノコンクール

自由曲部門 連弾シニアの部 金賞 及び 中日新聞社賞 山口 珠奈 (ピアノ専攻 2 回生) 武用 穂花 (ピアノ専攻 2 回生)

## ◆第72回全日本学生音楽コンクール 全国大会

声楽部門 大学の部 入選

**内山 歌寿美**(修士課程声楽専攻 1 回生) **原田 菜奈**(修士課程声楽専攻 2 回生)

# ◆日本音響学会 2019 年秋季研究発表会 学生優秀発表賞 渡邉 栞(博士課程音楽学領域 2 回生)

◆世界音響コミュニケーション月間 2018 (特に優秀な研究内容が若手研究者の中から選ばれ、学会期間中、金銭的補助を受けることができる。また、招待講演の機会が与えられる。)

渡邉 栞(博士課程音楽学領域2回生)

# ◆京都市芸術新人賞

酒井 健治 (音楽学部講師)

# ◆京都府文化賞

特別功労賞

蔵田 裕行(名誉教授)

功労賞

黒田博(1985年3月声楽専攻卒業)

奨励賞

泉原 隆志 (非常勤講師)

## ◆第 28 回日本クラシック音楽コンクール

ピアノ部門 大学女子の部 第5位(第1,2位なし) **仲吉 愛里**(ピアノ専攻3回生)

### ◆第12回ベーテン音楽コンクール

自由曲コース ピアノ部門 大学・院生 A 第 2 位 **仲吉 愛里**(ピアノ専攻 3 回生)

## ◆第 20 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA

アジア大会 大学生部門 奨励賞 森川 歩美 (ピアノ専攻1回生)

**◆**第 1 回大阪 International 音楽コンクール

ピアノ部門 第2位(1位なし) 中野万里子(1979年3月ピアノ専攻卒業)

◆第 20 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA

ソロアーティスト部門(ソロ最上位部門)全国大会銅賞 アジア大会ディプロマ賞

中野万里子(1979年3月ピアノ専攻卒業)

## **◆第 24 回 KOBE 国際音楽コンクール**

C 部門 (大学生・一般) 弦楽器部門 優秀賞 松田 美乃里 (弦楽専攻 (Vn) 3 回生)

#### ◆第 12 回ベーテン音楽コンクール

声楽部門 大学・院生 A 第1位 内山 歌寿美(修士課程声楽専攻1回生)

# ◆平成30年度「咲くやこの花賞」

浅井 咲乃(2003 年 3 月弦楽専攻 Vn 卒業)

◆フィゲイラ・ダ・フォズ国際ピアノ賞(ポルトガル)

第2位

小澤 美玲 (ピアノ専攻4回生)

受賞された皆さま、おめでとうございます!!

# 京芸移転先、元崇仁小学校の利用について

真声会会員の皆様は、京都駅東側の京芸移転先にある、元崇仁小学校の音楽室と放送室を、練習などに使っていただけます。使用できるのは、京芸移転の工事着工までの約2年間で、祝日を除く、火・水・金・土の9時~17時です。使用料は無料です。音楽室には、真声会の備品として、ヤマハのグランドピアノ(1964年製、

セミコン)があります。また、小さいですが、ガスファンヒータも使用していただけるようになっています。

設備や、使用方法について、詳しくは真声会 HP に掲載しておりますので、ご確認ください。右記 QR コードからもアクセス可能です。なお、使用申請にはネット環境が必要です。



(利用案内 PDF が開きます)



# 後援演奏会情報



※出演者は、卒業生のみ掲載しています。

## ♪高野ちか子ヴィオラリサイタル

日時: 2018 年 12 月 14 日(金) 19:30 会場: ヒビキミュージックサロンリーヴス

出演: 高野ちか子(42期 Va)

#### ♪松浦紫陽ピアノリサイタル セレンディピティ vol. 1

日時:2019年1月12日(土)18:00 会場:カワイ梅田コンサートサロン"Jouer"

出演:松浦紫陽(49期Pf)

# ♪名取裕子ピアノコンサートV「詩と音楽」

日時:2019年2月9日(土)14:00 会場:和泉市久保惣記念美術館 Eiホール

出演:名取裕子(34 期 Pf)

## ♪ 真声会中部支部主催「音に集う会 vol. 5」〜煌めきの Brass 〜

日時:2019年2月10日(日)15:00

会場:(株)ドルチェ楽器名古屋店 ドルチェ・アートホール Nagoya 出演:野々口義典(23期 Hr)、米田一幸(33期 Tp)、森岡佐

和(52期Tb)、金田仁美(52期Pf)

## ♪星野みゆき アクアクレールコンサート

日時:2019年2月16日(土)15:00 会場:横浜市 港南区民文化センター

出演:星野みゆき (31 期 FI)

# ♪ An Evening of Art Songs ~歌曲の夕べ~

日時:2019年2月26日(火)19:00

会場:伊丹アルカイックホール メインホール 出演:中西金也(49期Vo)、信多仁子(32期Pf)

# ♪芝野速大・小谷泉・徳永碧によるジョイントコンサート(第 11 回八潮市新人オーディション市長賞受賞記念)

日時:2019年3月12日(火)18:00

会場:八潮市市民文化会館 出演:芝野速大(65 期 Pf)

# ♪虹色バロック ~古楽器で奏でる虹色の調べ~

日時:2019年3月16日(土)16:00

会場:アートスペース Hase 出演:増永響子 (58 期 Vn)

### ♪ An Evening of Art Songs ~歌曲の夕べ~

日時:2019年3月28日(木)19:00

会場:伊丹アルカイックホール メインホール

出演:中西金也(49期 Vo)、栗木充代(34期 Vo)、信多仁子

(32期Pf)

#### ♪吉川秋穂のコンサート「ここからはじまる」

日時:2019年3月30日(土)14:00 会場:松江市市民活動センター 交流ホール 出演:吉川秋穂(63期Vo)、内山健人(59期Vo)

# ♪白水裕憲フルートリサイタル vol. 7 in Tokyo II

日時:2019年3月31日(日)15:00

会場:代官山教会

出演:白水裕憲(33期Fl)

### ♪池村佳子・松尾紗里デュオリサイタル

日時:2019年3月31日(日)15:00 会場:スタインウェイ&サンズ神戸

出演:池村佳子(45 期 Vc)、松尾紗里(55 期 Pf)

## ♪原田ひでよ モーツァルトピアノソナタ全曲シリーズ・ファイナル

日時:2019年3月31日(日)16:00

会場:南風会サロン

出演:原田ひでよ(26期 Pf)

# ♪吉川秋穂・内山健人デュオリサイタル

日時:2019年4月6日(土)15:00

会場:細川剛熈美術館

出演:内山健人(59期 Vo)、吉川秋穂(63期 Vo)

#### ♪第4回関西ロシア歌曲研究会コンサート

「リムスキー=コルサコフを歌う」

日時:2019年4月7日(日)13:30

会場:プチエル

出演:藤原さおり(46期 Vo)

## ♪白水裕憲フルートリサイタル vol. 7

日時:2019年4月7日(日)15:00

会場:coco.izumi

出演:白水裕憲(33期Fl)、西岡千里(28期Fg)

# ♪春のデュオ ~第6回 デュオ・リサイタル~

日時:2019年4月12日(金)19:00

会場:ミューザ川崎シンフォニーホール「市民交流室」

出演:鈴木梨津子(24期 Vn)

### **♪ Strings & Piano ENSEMBLE**

日時: 2019年4月13日(土)14:00

会場:アートスペース Hase 出演:柳樂毬乃 (62 期 Vn)

# ♪新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ vol. 24 中川雲母ヴァイオリンリサイタル

日時:2019年4月19日(金)19:00 会場:兵庫県民会館 けんみんホール

出演:中川雲母(64期 Vn)

## ♪アフター・アワーズ・セッション Duo \* Duo vol. VII

日時:2019年4月19日(金)19:00 会場:日本キリスト教団 天満教会

出演:右近恭子(25期 Pf)、ギオルギ・パブアゼ(教員 Vn)

## ♪山岸千夏&堀井亜紀子 ジョイントコンサート

日時:2019年4月20日(土)13:30

会場:プチエル

出演:山岸千夏(58 期 FI)、堀井亜紀子(58 期 Vn)、市川未来(56

期 Pf)

## ♪ An Evening of Art Songs ~歌曲の夕べ~

日時:2019年4月25日(木)19:00

会場:伊丹アルカイックホール メインホール

出演:上木裕子(34期Vo)、中西金也(49期Vo)、大原佳美

(34期 Vo)、信多仁子(32期 Pf)

# ♪神代稔子・下浦暖子 ~姉妹によるピアノデュオリサイタル~

日時:2019年4月29日(月・祝)14:00 会場:京都堀川音楽高等学校 音楽ホール

出演:神代稔子(31期Pf)、下浦暖子(34期Pf)

# ♪新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ vol. 25 星山智子ピアノリサイタル

日時:2019年5月10日(金)19:00 会場:兵庫県民会館 けんみんホール

出演:星山智子(50期 Pf)

## ♪田原希美ピアノリサイタル

日時:2019年5月12日(日)15:00 会場:スタインウェイ&サンズ神戸

出演:田原希美(54期Pf)

# **♦ String Quintet Concert in Kyoto - Ensemble amoibe Series vol. 17 -**

日時:2019年5月19日(日)19:00 会場:日本聖公会 京都聖マリア教会

出演: 朴梨恵(54期 Va)

## ♪アンサンブルグループさいさい 打楽器アンサンブルコンサート vol.1

日時:2019年5月19日(日)18:00 会場:京都文化博物館 別館ホール

出演:谷口かんな (63 期 Per)

### ♪ An Evening of Art Songs ~歌曲の夕べ~

日時:2019年5月21日(火)19:00

会場:兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演:中西金也(49期Vo)、栗木充代(34期Vo)、信多仁子

(32期Pf)

#### ♪ピアノアンサンブル doux vol. 13

日時:2019年6月1日(土)15:00

会場:松尾ホール

出演:奥田章子(32 期 Pf)、高橋知子(32 期 Pf)、高橋律子(34

期 Pf)、元木いずみ (32 期 Pf)

# ♪山本梓クラリネットリサイタル vol. 2 (公財) 青山音楽財団助成公演

日時:2019年6月2日(日)14:30 会場:青山音楽記念館バロックザール

出演:山本梓(56期Cl)

#### ♪田村幸造レクチャーコンサート vol. 2

日時:2019年6月16日(日)14:00 会場: ノワ・アコルデ音楽アートサロン

出演:田村幸造(36期Pf)

## ♪アンサンブル ベルクレール リサイタル vol. 6 ~時を超えて~

日時:2019年6月23日(日)15:00

会場:アートサロン空 出演:西園真理(31期 Vn)

### ♪松尾紗里ピアノリサイタル

日時:2019年6月23日(金)15:00 会場:ヒビキミュージックサロンリーヴス

出演:松尾紗里(55期Pf)

# ♪ Franz Schubert シューベルト讃 — 歌曲選集 —

日時:2019年6月23日(日)14:00 会場:青山音楽記念館バロックザール

出演:高山景子(47期 Vo)

#### ♪ Clarinet for you vol. 2 鬼頭典子クラリネットリサイタル

日時:2019年6月30日(日)14:00 会場:東リ いたみホール 中ホール

出演:鬼頭典子(40 期 Cl)

# **♪ 狛江でクラシック Vol. 5 フランスの風 ~フルートとともに~**

日時:2019年6月30日(日)14:00

会場: 狛江 エプタ・ザール

出演:嶋村純子(36 期 Vo)、下浦暖子(34 期 Pf)、神代稔子(31

期 Pf)

# ♪日本・ポーランド国交樹立 100 周年記念コンサート 髙木知寿子ワルシャワピアノ5 重奏団

日時:2019年7月20日(土)18:30

会場:京都府民ホール アルティ

出演:髙木知寿子(27期 Pf)

## ♪小川友子ピアノ室内楽シリーズ IX

日時:2019年7月21日(日)15:00

会場:ザ・フェニックスホール

出演:小川友子(27期Pf)

#### ♪トリオ フォンターナ 2019 夏 ~結成 21 周年~

日時:2019年7月25日(木)19:00

会場:ザ・フェニックスホール

出演: 久保由佳子(26 期 Vn)、佐々由佳里(30 期 Pf)

## ♪コーラスジョイントコンサート 「刻 ―とき―」

日時:2019年8月3日(土)14:00

会場:いずみホール

出演:松尾卓郎(45期Vo)、平林知子(35期Pf)

#### **♪ La Saison ピアノアンサンブルコンサート**

日時:2019 年 8 月 4 日(日)14:00 会場:京都堀川音楽高等学校 音楽ホール

出演:竹迫友梨(62期Pf)、松下桜子(62期Pf)

## ♪中山美輝パーカッションリサイタル

日時:2019年8月9日(金)18:30 会場:青山音楽記念館バロックザール

出演:中山美輝(61 期 Per)、大村優希恵(61 期 Fl)

## ♪梁洋子 & 有元裕子 デュオ・リサイタル (公財)青山音楽園助成公演

日時:2019年8月10日(土)17:00 会場:青山音楽記念館バロックザール

出演:梁洋子(50期 Vn)

#### ♪永野伶実フルートリサイタル

日時:2019年8月10日(土)19:00

会場:iichiko 音の泉ホール 出演:永野伶実(53 期 Fl)

# ♪菱谷祐衣ピアノリサイタル

日時: 2019 年 8 月 18 日(日) 14:00 会場: 栗東芸術文化会館さきら 小ホール

出演:菱谷祐衣(58期Pf)

### ♪木下敦子、宋和映ピアノデュオリサイタル

日時:2019年8月24日(土)18:00

会場:カワイ梅田 コンサートサロン「ジュエ」 出演:木下敦子(55 期 Pf)、宋和映(55 期 Pf)

# ♪第九と堀江トリオのトリプル協奏曲

~真夏の夜のベートーヴェン~

日時:2019年8月26日(月)19:00

会場:ザ・シンフォニーホール 出演:堀江恵太(60期 Vn)

## ♪中井美内子ソプラノリサイタル

日時:2019年8月29日(木)

会場:兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール 出演:中井美内子(35期 Vo)、土居知子(35 期 Pf)

## ♪サロンで聴くバロック音楽 vol. 7「La Mort de Didon」

日時:2019年9月22日(日)14:30/11:00(0才からのバロック)

会場:世良美術館

出演:大内山薫(47期 Vn)

#### ♪栗木充代メゾソプラノリサイタル

日時:2019年9月27日(金)19:00

会場:兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演:栗木充代(34 期 Vo)

#### ♪ボグダン・ミヒャエル・キッシュ 坂口絵梨 デュオリサイタル

日時:2019年10月9日(水)19:00 会場:青山音楽記念館バロックザール

出演:坂口絵梨(59期Pf)

# ♪福田彩乃サクソフォンリサイタル

日時:2019年10月16日(水)19:00 会場:青山音楽記念館バロックザール

出演:福田彩乃(63期Sax)

## ♪~二人のソリストと弦楽アンサンブルの響奏~

日時:2019年10月25日(金)19:00 会場:豊中市立文化芸術センター 小ホール

出演: 松尾紗里 (55 期 Pf)、佐本博子 (56 期 Va)、小棚木優 (56

期 Vc)

## ♪エッカレピアノデュオコンサート クララ&ロベルト・シューマン クララ・シューマン生誕 200 周年を記令して

クララ・シューマン生誕 200 周年を記念して 日時: 2019 年 10 月 29 日(火) 19:00

会場:カワイ梅田 コンサートサロン「ジュエ」

出演:エッカレ真理子(44期 Pf)

## ♪二人のピアノコンサート

日時:2019年11月3日(日)14:00

会場:京都府民ホール アルティ

出演:松村佳奈(31期Pf)、山下由香(26期Pf)

## ♪村上久仁子ピアノリサイタル

日時:2019年11月10日(日)16:00

会場:びわ湖ホール小ホール 出演:村上久仁子(22期 Pf)

## 訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

1 期 西田 深春 様 (ヴァイオリン)

3期 寺本正代様(声楽)

5期 小島早苗様(ピアノ)

15期 錦文子様(声楽)

27 期 福富 博文 様 (ヴァイオリン)

3期 上木 亜也様(作曲)

5期 先崎利明様(作曲)

10 期 室谷 智子 様 (声楽)

18期 安川温子様(作曲)

# 真声会活動報告

#### 2018年度 第4回理事会

日時 2018年12月20日(木)19時~21時

会場 ザ・パレスサイドホテル

出席者(敬称略)

理事:大村益雄、樋上由紀、登博美、朴実、佐藤敏子、中村公俊

監査役:杉中博 選挙管理委員長:桒原孝夫

#### 議案

1. 役員選挙開票結果の報告

- 2. 次期理事・役員の人選について
- 3. 第4回学内委員との懇談会について
- 4. 真声会賞の運営について
- 5. 卒業式、入学式について
- 6. 支部支援金について

#### 2018 年度 第 5 回理事会

日時 2019年2月7日 (木) 19時~21時

会場 ザ・パレスサイドホテル

出席者(敬称略)

理事:樋上由紀、登博美、朴実、山本千尋、中村公俊、笹まり恵

監査役:杉中博

京都芸大:淀野実 副理事長

#### 議案

- 1. 京都芸大移転について
- 2. 象の会との事務局会議報告
- 3. 次期理事会の役員について
- 4. 学内委員との懇談会について

#### 第4回真声会役員と学内委員との懇談会

日時 2019年2月25日(月)19時~21時

会場 ザ・パレスサイドホテル

出席者(敬称略)

真声会:大村益雄、樋上由紀、登博美、朴実、山本千尋、中村公俊、笹まり恵 学内委員:中村典子、酒井健治、山本毅、大嶋義実、村上哲、北村敏則、日紫喜恵美

#### 案

- 1. 今後の真声会賞の運営方法について
- 2. 大学運営の現状と課題
- 3. 大学移転について
- 4. 真声会の今後、真声会への要望

#### 2018年度 第6回理事会

日時 2019年3月19日(火)19時~21時

会場 ウィングス京都 4F

出席者(敬称略)

理事: 樋上由紀、登博美、朴実、山本千尋、山本毅、中村公俊、小松淳中

監査役:杉中博

#### 議案

- 1. 真声会賞の選考
- 2. 学内委員との懇談会報告
- 3. 総会について
- 4. 会報 68 号について
- 5. その他
  - 新旧役員懇談会と会計監査の日程
  - ・京都支部から学校掲示板への掲載依頼について

# **-**---

# 真声会 2019 年度 総会のご案内

真声会 2019 年度総会及び、懇親会を開催いたします。お忙しいこととは存じますが、ぜひご出席いただきますようご案内申し上げます。(同封の「総会案内及び資料」をご参照ください。)

記

1 日 時 2019年6月30日(日) 総会 午後2時~午後4時 懇親会 午後4時~午後6時

2 場 所 ザ・パレスサイドホテル (上京区烏丸通下立売上ル)

3 総 会 「2019 年度真声会総会議案書」及び添付の資料をご参照ください。

4 懇親会 多くの同窓生が一同に会して楽しく懇親交流を深めたいと思います。 参加費は、食事付きで、当日 3.500 円をお支払いください。

# ○出欠の返信は、同封の返信用ハガキにて、6月14日(金)までにお願いします。

- ○ご欠席の場合は、委任状か議決権行使書の提出をお願い致します。
- ○ご不明な点がございましたら、事務局(080-6185-4494)までお問い合わせください。

## 編集後記

理事会の体制が入れ替わる区切りのシーズン。私が真声会の理事になったのは4年前でした。調べたところ、4年前はラグビーW杯での日本代表の活躍が話題になった年。その頃はまだ、4年後には平成が終わり「令和」という時代が新しく始まるなんて、誰も知りませんでした。皆さまは4年前、何をされていましたか?さて、次の4年後には何があるでしょうか。順調に行けば、京芸の移転が本格的に始まっている頃です。果たしてどうなっているでしょうか?楽しみです!(A.K.)

発行所

真声会 京都市立芸術大学音楽学部内 〒 610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13番地の 6

TEL: 080-6185-4494 FAX: 075-320-2520

e-mail: shinsei@kcua.ac.jp

 $HP\ :\ http://www.shinseikai-kcua.net$ 

Facebook:https://www.facebook.com/KCUA.AlumniAssociation.Shinseikai 郵便振替口座 01070-4-16071 真声会